

中学校日記

学校生活の1コマを学生の手作り(写真・文)でお届けします。



- # 指揮を振る私
- # 本番！ 響けみんなのハーモニー
- # 高め合う練習風景

kiyama_chuugakkou

クラスが一つになった 合唱コンクール



きやまくん

クラスが一丸となった合唱コンクールを紹介をします。10月6日の本番に向けて、練習を重ねるごとに技術の向上を実感する一方、完成度を高めたいが故に意見が対立する場面もありました。しかし、早朝や放課後の練習を通して、クラスの結束感が高まり、見事な本番を演じることができました。1、2年生は学級の仲をさらに深め、3年生は中学校最後の行事として全力を尽くしました。今後も木山中の活躍にご注目ください。



私がお伝えします

木山中文化委員長の
たかみ ゆきな
高見祐希奈さん(3年生)

MASHIKI TOWN
CHIIKI-
OKOSHI

「まち全体が
学びの場」

Vol.52



益城中央小
ドリーム益城っ子
もりけんじ
森憲二さん

最高の笑顔！

益城中央小でボランティアをしている地域の皆さんが、活動後によくおっしゃる言葉は、「元気をもらいました」、「また来ます」などです。

22歳の息子(益城中央小出身)に、お世話になったボランティアさんのことを聞いてみると「楽しかったよ」との返事。10年も前のことがまだ心に残っているようでした。現在も学習ボランティア、クラブ活動、見守り、稲刈りなどすてきな地域の皆さんに応援してもらっています。

学習ボランティアさんが丸付けをするときに「頑張ったね！」など励ましの言葉をかけてくださいます。それを聞いて、子どもたちはやる気が出ます。地域の人々の元気が笑顔が子どもたちに伝わり、子どもたちも元気に、そして笑顔になります。ただの笑顔ではありません。「最高の笑顔」が自然と出てきます。それを見るたびに、私も最高に幸せです。

MASHIKI TOWN
CHIIKI-
OKOSHI

「町に虹色の
輝きを」

Vol.18



地域おこし協力隊
なかもらこうすけ
中村康佑さん

「まちづくり」のノウハウを学ぶ場をつくる

にじいろの活用や震災記念公園・木山橋の記念イベントなど、地域や役場の皆さんと協力しながらさまざまなことに取り組んできました。これらは益城町ならではの価値や、暮らしを感じられるような「益城町らしい風景」をつくりたいという思いから始まりました。

僕たちは自分たちの知識や技術を深めるだけでなく、ぜひ地域の皆さんと一緒に学び、まちづくりを楽しんでくれる仲間になってほしいと思っています。

そこで新たに「まちづくりスクールプロジェクト」を企画しました。全国各地で実践的な取り組みをしている人から、まちづくりのヒントやノウハウを学ぶことができるプログラムを予定しています。詳細は、協力隊のインスタグラムや、にじいろのホームページなどで発信していきますのでチェックしてみてください。